

工事写真



家屋全景



ジャッキアップ準備工(柱固定完了)



ジャッキアップ準備工(ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ準備工(ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ工(ジャッキアップ状況)



ジャッキアップ工(測量状況)



ジャッキアップ工(ジャッキアップ完了)



復旧工(外周基礎補修)



床下土間工(防湿シート布設完了)



床下土間工(メッシュ筋設置、生コンクリート打設状況)



床下土間工(生コンクリート打設完了)



復旧工(鋼製束設置完了)

兵庫県川辺郡 家屋沈下修正工事

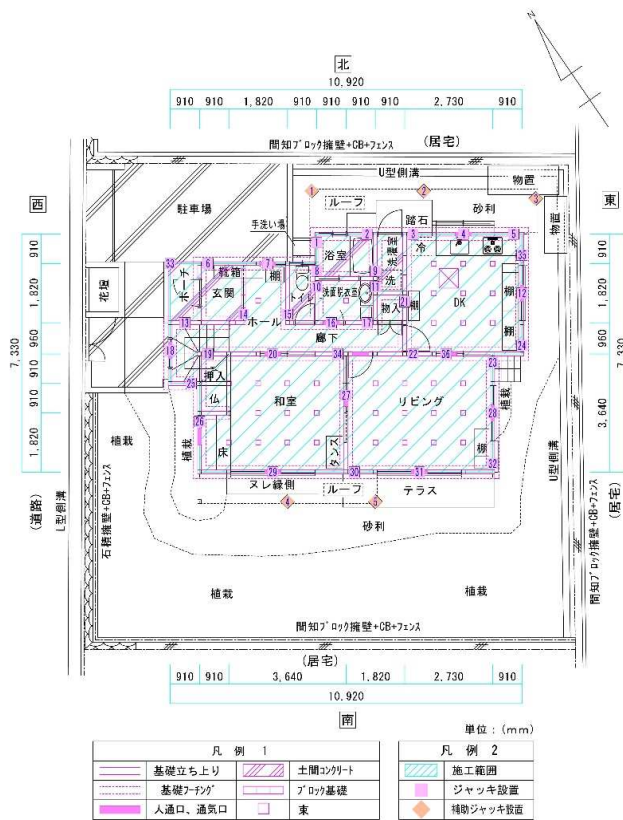
工事概要

工事場所 : 兵庫県川辺郡
 建物の種類、構造 : 居宅、木造2階建
 築年数 : 39年
 基礎構造 : 布基礎
 施工範囲 : 68㎡(全体)
 沈下量 : -102mm(最大部)
 工事内容 : 土台上げ工法
 工期 : 約2週間

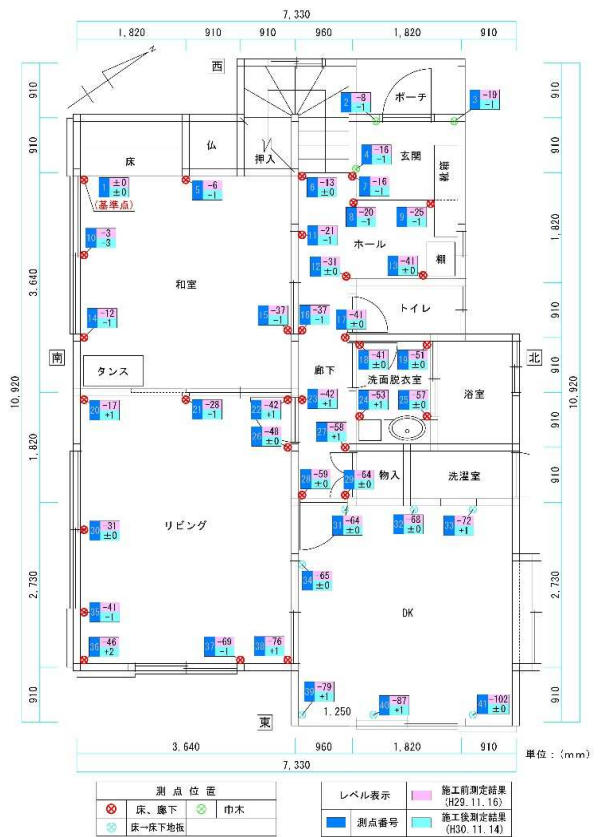
工事の経緯

建物は、丘陵地を平坦化した宅地造成地に建てられた築39年を経過する建物である。
 家屋の変状としては、外壁及び基礎立ち上がりの全面で変状及び補修跡が見られており、沈下測量では、DK北東側で最大-102mmの値が確認された。
 沈下原因としては、明瞭には判断できないが造成時の締固めが不十分のため長期的に地盤が下がり家屋に変状が生じたものと推定される。
 対策工法としては、本建物は築39年を経過しており沈下はほぼ収束していると思われ、土台下からジャッキアップする土台上げ工法で対策することにしました。

施工平面図



測定結果



工事写真



家屋全景



ジャッキアップ準備工(アンカーボルト解放、延長状況)



ジャッキアップ準備工(外部ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ準備工(床下ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ工(ジャッキアップ状況)



ジャッキアップ工(ライナー設置完了)



復旧工(アンカーボルト締め付け完了)



復旧工(モルタル詰め完了)

兵庫県宝塚市 家屋沈下修正工事

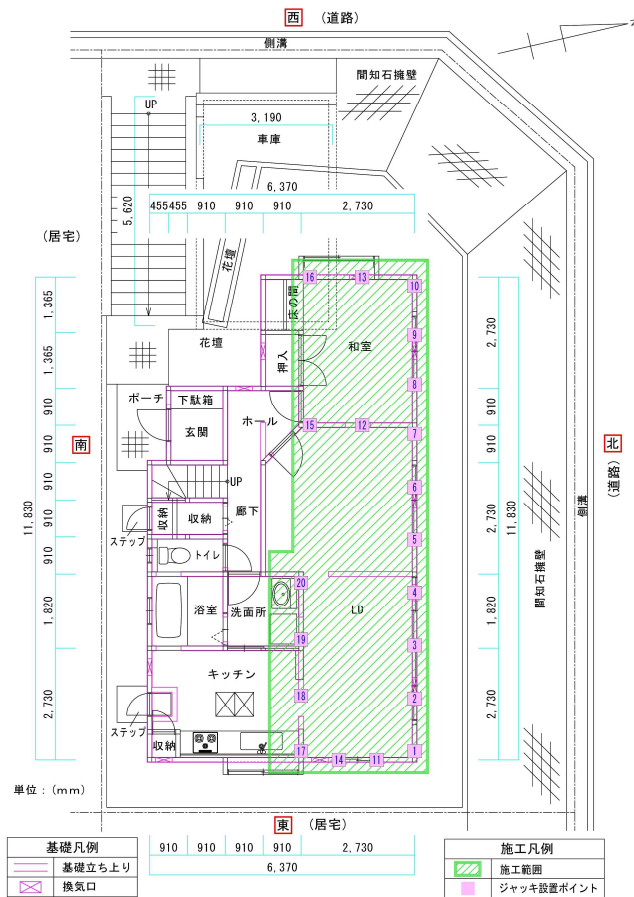
工事概要

工事場所 : 兵庫県宝塚市
 建物の種類、構造 : 居宅、木造2階建
 : 車庫、鉄筋コンクリート造平家建
 築年数 : 22年
 基礎構造 : ベタ基礎
 施工範囲 : 43㎡(部分)
 沈下量 : -30mm(最大部)
 工事内容 : 土台上げ工法
 工期 : 約1週間

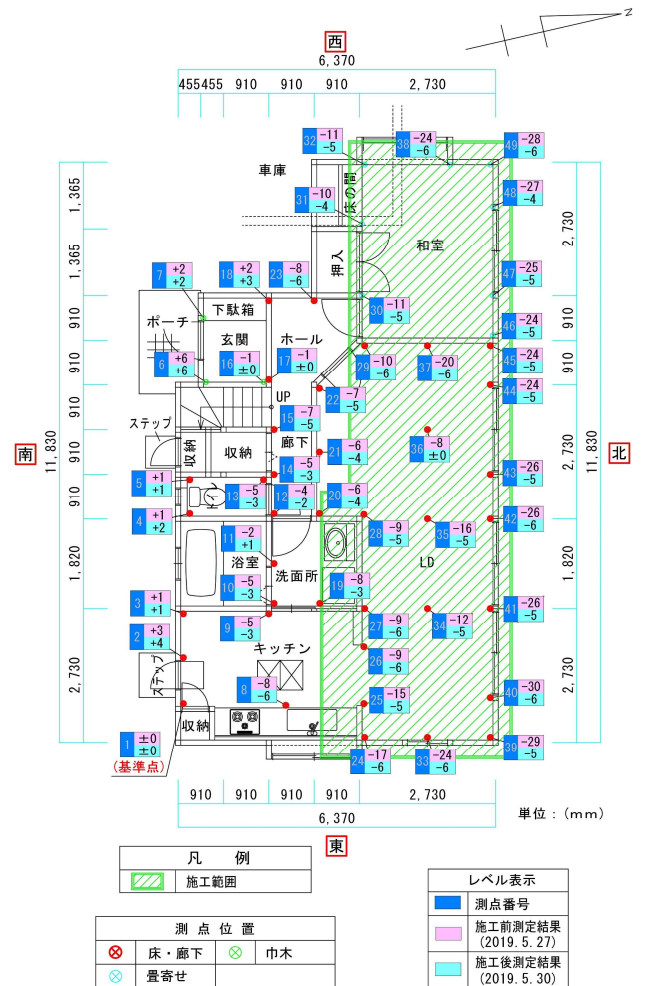
工事の経緯

本敷地は、山地を切り開いた切盛りの造成地で、建物は築22年を経過する。
 家屋の変状としては、施工前の沈下測量結果で家屋は全体に南側から北方向への傾斜傾向を示し、施工前の最大沈下量は、DK北東側で最大-30mmの値が確認された。
 沈下原因としては、明瞭には判断できないが造成時の北側擁壁裏込め部の締固めが不十分のため長期的に地盤が下がりが建物に変状が生じたものと推定される。
 対策工法としては、本建物は築22年を経過しており沈下はほぼ収束していると思われることから、土台下からジャッキアップする土台上げ工法で対策することにしました。
 今回の工事は、比較的に沈下量が大きい家屋北側(和室、LD)の部分施工を実施している。

施工平面図



測定結果



工事写真



着工
(家屋全景)



準備工
(床下進入口開口完了)



ジャッキアップ準備工
(ジャッキ設置箇所ハツリ完了)



ジャッキアップ準備工
(アンカーボルト延長完了)



ジャッキアップ準備工
(外周ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ準備工
(床下ジャッキ設置完了)



ジャッキアップ工
(ジャッキアップ状況)



ジャッキアップ工
(測量状況)



ジャッキアップ工
(ライナー設置完了)



復旧工
(アンカーボルト締め付け完了)



復旧工
(土台下モルタル詰め状況)



復旧工
(土台下モルタル詰め完了)

大阪府交野市 建物沈下修正工事

工事概要

工事場所 : 大阪府交野市
 建物の種類、構造 : 居宅、木造瓦葺平家建
 築年数 : 不明(築100年以上)
 基礎構造 : 石場建て構造
 施工範囲 : 27㎡(部分)
 沈下量 : -90mm(最大部)
 工事内容 : 薬液注入及び土台上げ工法
 工期 : 薬液注入 約1週間
 養生期間 約1ヶ月
 土台上げ 約1週間

工事の経緯

本敷地は、斜面崩壊や土石流によってできた山麓堆積地形に位置する造成地で、建物は築100年以上を経過する。

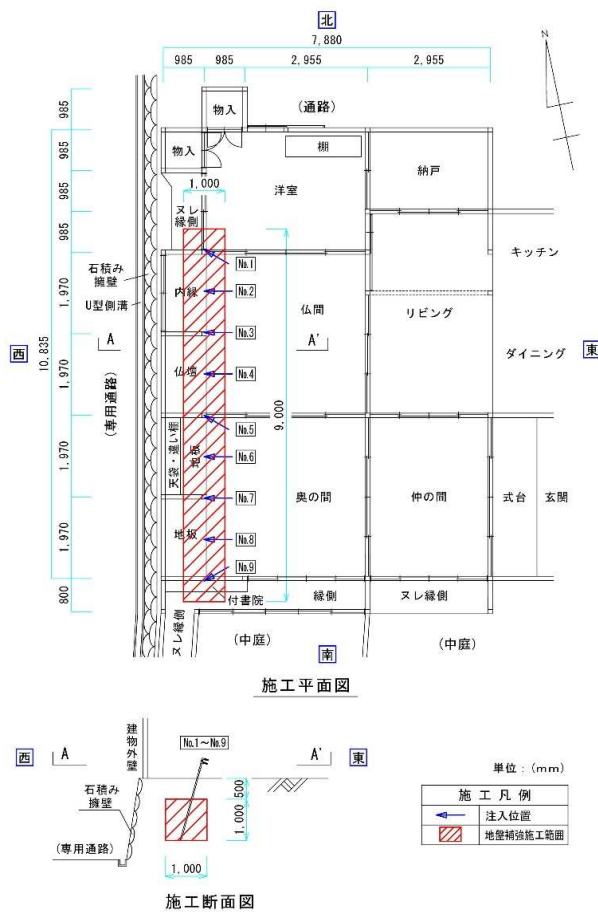
今回の工事は仏間、奥の間を主体とした部分修正工事を実施した。施工前の沈下測量結果で仏間では南西方向、奥の間では北西方向への傾斜傾向を示しており、施工前の最大沈下量は、仏間と奥の間の境の西側で最大-90mmの値が確認された。

沈下原因としては、明瞭には判断できないが施工箇所の西側は石積み擁壁になっており、事前に行った床下での地盤調査で緩い地盤が確認されたことから、造成時の石積み擁壁の裏込め部の締固めが不十分のため長期的に地盤が下がり建物に変状が生じたものと推定される。

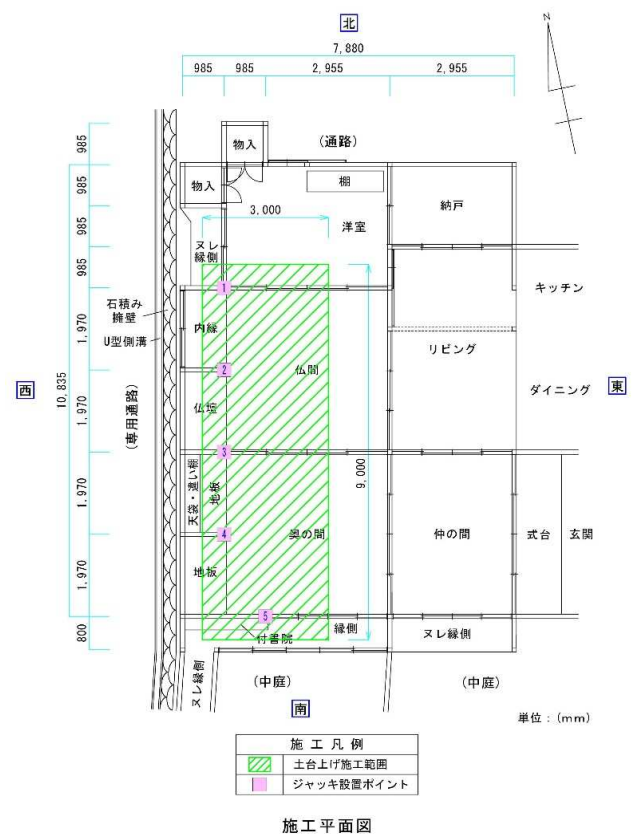
対策工法としては、緩い地盤の地盤補強工法(薬液注入工法)を実施し、地盤の強度が確保された状態となつてから、土台上げ工法(抱え上げ工法)により沈下修正を実施した。

今回の工事は屋根に影響を与えないように、仏間北東角を基準点として奥の間北側西部を目標-50mmとして修正工事を実施している。

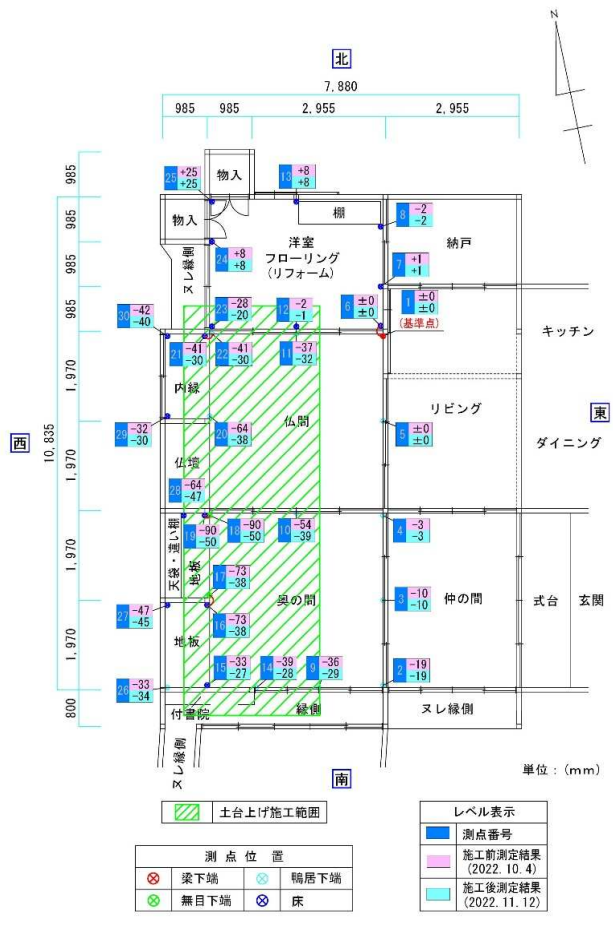
薬液注入工事



土台上げ工事



測定結果



工事写真



着工、養生



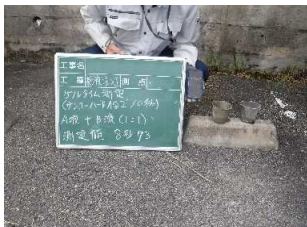
材料入荷



車上プラント 全景



材料攪拌状況



ゲルタイム測定



注入状況



注入完了、整地



ジャッキ設置完了



ジャッキアップ状況



ライナー設置完了



基礎モルタル補修完了



束交換完了